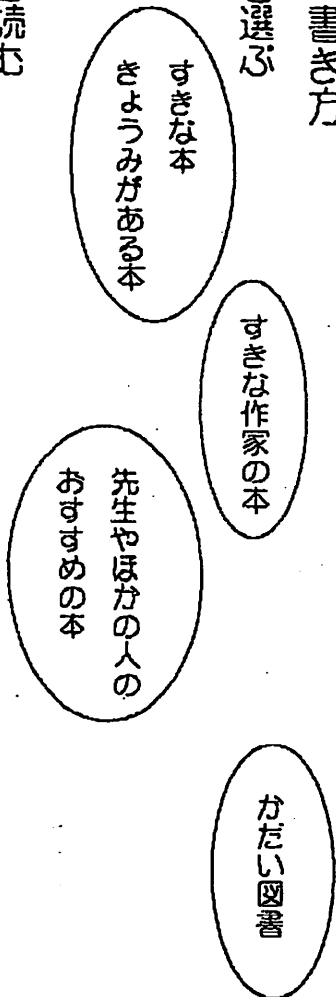


本を読んで、心にとったことやきもちだったとき、書きとめておきましょう。  
本と出会う、動いた自分の心を見つめることは、これからのみなさんの成長の助けになるでしょう。  
この夏休みに、たくさんの本を読んで、読書感想文にちょうせんしてみてください。  
きっと、お気に入りの一冊と出会えるでしょう。

### 感想文の書き方

#### ①本を選ぶ

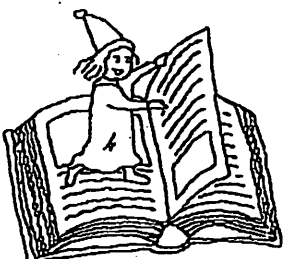


#### ②本を読む

- ★読みながら、メモをつくる。
- (登場人物・自分の感想・気に入った文や気になる文に付せん紙をはる。)
- ★その本の主題を考えながら読む。
- ★主人公を追いかけて読む。

#### ③書く

- ★かきだしを工夫しよう。
- ・自分で一番言いたいことをきつぱりとした文章で書く。
- ・文中で一番心にとった文章や言葉から書く。
- ・その本を読んだきっかけから書く。
- ・登場人物の呼びかけから書く。
- ★内容をふくらませよう。
- ・自分と登場人物を比べてみたり、身近な人と話の中の人物とを重ね合わせてみたりする。
- ・作品をいろいろな角度からながめてみる。
- ・読書感想文を読んだ人が、その本を知らなくてもおおよそのことがつかめるように、あらすじも必要に応じて入れる。(あらすじはかり書かない。)
- ・自分の体験を入れて書く。ただし、本からはなれないようにする。



#### ★書き終わりを工夫しよう。

- ・本を読んで一番強く感じたことやこれからの自分の生き方に役立てたいことを書く。
- ・書き出しの部分で疑問や質問を投げかけておいて、結びで自分なりの答えを書く。
- ・書き出しの部分で、自分の何気ない生活にふれた場合は、結びでそれが、本との出会いでどう変わりそうかを書く。

「感想文がけちゃった」 水野素美子画 旺文社  
 「こんなにかんたん 読書かんそう文」 松田正子画 成英堂  
 ☆ワキとめたもの